

# 生き直し通信

5月9日

松戸拘置支所に行っ  
た際の写真



※松戸拘置支所はイトーヨーカドーの中を抜けていく変わった場所にあります。



※講演をした際の写真。

## 現在までに10名の 刑余者の受け入れ

一般社団法人生き直しでは、自立準備ホーム生き直しへ入居した方々の支援を行っております。

皆さまから頂いた会費を使い、備品や食料（お米等）を購入する代金にさせていただきます。

そして今後の女性施設開設に向けての支度金とさせていただきます。

**現在、所沢で一軒家を借りる手続きをしており、5月に引き渡しがあり、自立準備ホーム設置に向けて動いております。**

令和1年5月

発行：(一社)生き直し

会員数：40名

寄付支援者数：49名

\*単発寄付や物資等

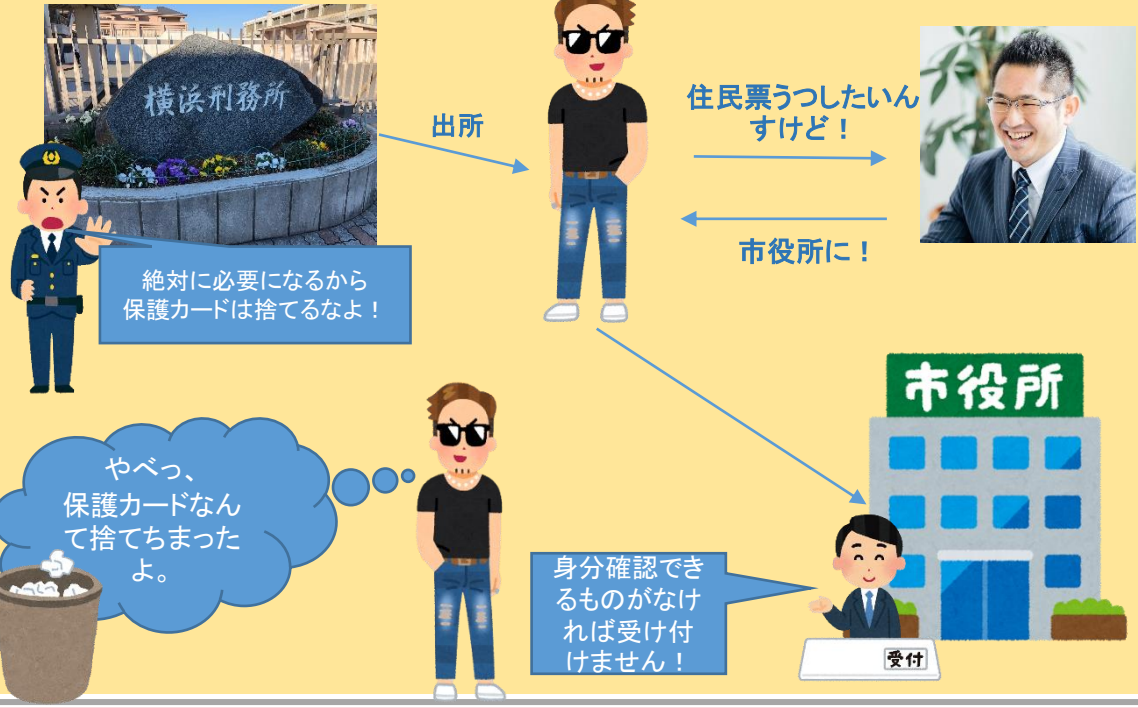
## 自立準備ホームとは

自立準備ホームは、あらかじめ保護観察所に登録された NPO 法人、社会福祉法人などが管理する施設の空室等を活用し、行先のない刑余者の帰住先・定住先を確保するための「緊急的住居確保・自立支援対策」として 2011 年度から開始された更生保護分野の制度。\*平成29年4月時点で登録事業者数が375。2万人以上の出所者がいて利用者はたったの1500人という現状。



# 出所者は住民票をとるのもの一苦労？

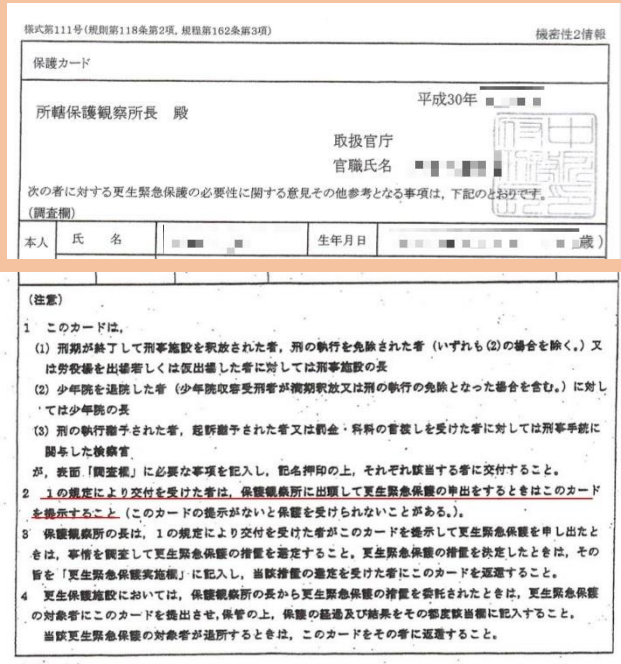
先日、執行猶予判決がなされた20歳の人を受け入れましたが、その際に住所を移すのにものすごく苦労しました。  
なので、今回は住所に焦点をあてて考察してみます。



## ○住所が作れないのがザラ？

刑務所から出た場合、仕事をしたい場合まずは住所を作らなければならぬ。もし住む場所を見つけたとしても、市役所に認めてもらう必要がある。門前払いをくらうことも多い。しかも本人がその場にいなくても移せないのがかなりのケース。一応、刑務所にいた際の証明書として「**在監証明書**」「**保護カード**」

と余談だが、保護カードが刑務所から量らなげに捨てられてしまうことがある。この場合、本人が証明する必要がある。また、保護カードは刑務所から量らなげに捨てられてしまうことがある。この場合、本人が証明する必要がある。また、保護カードは刑務所から量らなげに捨てられてしまうことがある。この場合、本人が証明する必要がある。



※保護カード現物抜粋！この紙切れが非常に重要！



住所移したいんじゃが！

身分証ないから無理です！

ワレ、喧嘩売っとなのかボケ！住民票なんぞいらんわ！



## Mini Column① ~役所のあり方~

○役所は1人で行っても門前払い？  
今回20代の方がうちに入ることに、な役所に住民票を移動するにため、ある区役所に転出届を出した。その際に、本人の住所を証明する必要がある。本人が証明できない場合は、本人の住所を証明する必要がある。本人が証明できない場合は、本人の住所を証明する必要がある。

現在までに10名の刑余者が！



運動会は音  
だしたらあか  
んねん！



## Mini Column②

### ～刑務所内での運動会は特殊～

○刑務所では年に1回運動会が？

刑務所でも様々なイベントがあり、その中でも年1回、運動会が開催されている。

どの受刑者も出られるわけではなく、基本的には中での態度がよい受刑者のみが参加できる。

受刑者が企画を立て、選手を選び場對抗決着をつけるもの。

ここまでだといたって普通の運動会と変わらないと思うかもしれないが唯一違うことはなんと

「音楽が一切からないこと！」

運動会なものにもすごく静かな運動会。想像しただけで、かなりシニールな運動会だが、近隣住民から

「受刑者を遊ばせている」

との苦情が来ないためとの言われている。刑務所関係者がいる方はぜひ運動会のことを聞いてみてはどうでしょう？

## 埼玉に女性専用の 自立準備ホームを！

ある方の助力で、埼玉で一軒家を借りることができました。ここで新たに女性の施設を運営しようと動きだしております。

6月半ばか7月にはオープンできればと考えております。

女性の出所者を受け入れる数が少なく路頭に迷う出所者が多いとの現状もあるので、今回思い切って一軒家を借りてみました。

来月以降にもう少し詳細をお伝えできると思いますので、楽しみにしてください。



皆さまの  
ご支援ご協力  
お待ちしております

④ 家（1Rでも可）

③ 出所後 6 か月以内の出所者

② お米や家に余っている食材等

① 賛助会員（寄付）

○ 自立準備ホーム生き直しでは、左記のものの寄付を募集しております。



生き直し 代表  
千葉龍一

## 女性の施設設置に向けて！

『生き直し』では、出所した男性向けの施設を運営してまいりましたが、新たに自殺率の高い出所女性を救うべく施設構築に向けて動きだしております。

安定した運営のため月額500円の寄付からあなたも一緒に「生き直せる社会の構築」に貢献してみませんか？

